



辻川だより

第4号 [2007 冬号] 平成19年12月1日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]
〒679-2204 福崎町西田原 1227
TEL 0790-22-5763
ホームページ <http://www10.plala.or.jp/tujukawa/public.html/>



10/6 17:30 吉田の
コスモス畑をゆく

**今年度ふり返りと
新年度への想い**
区長 釜坂 道弘
今年も、あとわずかになりました。この一年多くの方々に支えられ、辻川区も新しい年を迎えようとしています。ご協力をいただいた大勢の人に感謝いたします。
真夏の辻川界隈展と民俗学の夕べでは、三木家住宅での講演会と写真展が新たに加わり盛況でした。秋祭りには暫定ではありますが、初めてまわしの着用を許可しました。この件については、来年度の総会で皆様の総意で今後どうするかを決める予定です。また、銀の馬車道ウォークともちむぎ祭りでは、商工部会がラベルも新たに清酒「鈴の露」と絵馬の販売を開始し、訪れた方々に辻川のお土産ができたことはうれしいことです。続いて行われた人情喜劇「銀の馬車道」では、演劇活動を支援し多くの方に感動を与えました。これらはいずれも「辻川らしさ」が発揮できた事業と思います。
来年度も多くの方々との連携を保ちながら、「すばらしい辻川」づくりに頑張る所存です。今後とも、みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

10/6 16:40 八反田の
八坂神社宮前近くで



10/6 18:40 役場前で初点灯

お知らせ
★新「ミ」の収集について
先の行政懇談会や広報くさきでもお知らせがあったように、平成20年1月から従来の「可燃ごみ」から「プラスチック製容器包装」と「ミックスペーパー」をさらに分別して、再資源化することになっていきます。この分別は二酸化炭素排出削減にも直結する施策です。私たちのできることから早速始めましょう。



10/7 7:40
屋台倉前で鏡開き

田原地区最大の年中行事。秋晴れの下、おらが屋台とその練りを誇示することができたのだろうか。食事準備は田原一。今年も多くの縁の下の方々に支えられた秋祭りであった。感謝。なお、暫定的に認められた「まわし」については、平成20年度初総会でその賛否を問う、区民の総意を確認予定。こそつての参加をお願いします。

10/6 13:40
鈴の森神社宮出



少雨決行。秋祭りに向けての準備が整った。午後には予定されていた「肩合わせ」は中止。◆10月6日(土) 7日(日) 秋祭りの
道普請
◆9月30日(日)
◆10月27日(土) 28日(日) 秋祭りの
道普請

協議委員会は今
10月と11月の定例協議委員会での検討内容や報告・実施事項を一部紹介します。
① 地租割、協力金等徴収準備
② 総会の準備
③ 秋祭りのふり返り
④ 防犯灯を3ヶ所(元登記所前、高藤稲荷前とその西角)に新設
⑤ 歩道橋下の上井にかかる鉄板補強を町に要請
⑥ 10/28協議委員で雲津川清掃
⑦ 11/9フワワーホットを業社
⑧ 丹に植え替え(環境担当)



10/7 14:30 熊野神社宮入
田尻の氏神、塞神社へ

◆10月31日(水)
銀の馬車道劇団旗揚げ公演
地元田原の小学生や喜劇俳優の渋谷天外さんたちに混じり、辻川からは鈴木惇平君・健太君(5年)兄弟、堀節子さん・綾奈さん(3年)・奈那美ちゃん(4歳)親子、田中純美さんがキャストやナレーターとして出演した。時には笑いや涙を誘い、六百人の観客を魅了した。



◆10月27日(土) 28日(日) 秋祭りの
道普請
◆9月30日(日)
◆10月27日(土) 28日(日) 秋祭りの
道普請

《当面の予定》
1月13日(日)
平成20年度総会

各種団体 活動紹介
最近の活動状況や役員の思い
★老人会
会長の植田登さんに伺った。六十五歳以上百一歳までの会員約190名で構成。辻川では最も大所帯の団体であり、3クラブに分かれるものの活動は一緒に。健康面ではグラウンドゴルフ、奉仕面では清掃活動や独居老人訪問や老人ホーム慰問など。小学生との鈴の森神社清掃には例年五十余名の会員が参加し、生活の知恵を伝授。葬儀の際の祭壇組立・撤収は同会役員がつかさどる。「地域では大きな位置を占め責任も重いが理解が希薄。老人会に関心をもちたい」とは植田さん。辻川の文化を後世につなぐ。

◆10月31日(水)
銀の馬車道劇団旗揚げ公演
地元田原の小学生や喜劇俳優の渋谷天外さんたちに混じり、辻川からは鈴木惇平君・健太君(5年)兄弟、堀節子さん・綾奈さん(3年)・奈那美ちゃん(4歳)親子、田中純美さんがキャストやナレーターとして出演した。時には笑いや涙を誘い、六百人の観客を魅了した。

★商工部会

会長の駒田富男さん、副会長の松岡豊さん・松岡一義さんに伺った。辻川では「にぎやか」の中心団体。辻川区が元気になるべく、鈴の森神社を中心としたまちづくりを推進する。絵馬掛けも同部会の作。63名の会員を擁し、民俗学の夕べ、銀の馬車道関係のイベント、産業祭、親月会等に参画する。対外的なイベントでは辻川広報の役割を担う。平成9年から始まった「民俗学の夕べ」は同部会が「山桃忌」の前夜祭として音頭を取った。鈴の森神社の参拝者数の推移が気にかかる。

■ 鈴の森神社



瓊瓊杵尊・天兒屋根尊

太玉尊・大山積(祇)尊

を祭神とし、鈴(すず)・清らかな聖地の意味の森に造られたこと。播磨風土記に「神々が集まりたもつた」とあるとつた。四柱が合祀されている神社は少ない。大山積尊は後の合祀のようだ。本殿正面に右大臣・左大臣を従える。



左大臣↑



右大臣→

明治三十六年に建立された拝殿は、大正九年に改築された。この改築等の際に辻川・井ノ口間にもめぐりが生じた。時の田原村長の仲裁による覚書が役場に残る。

■ 鈴の森神社境内内社

恵美須(えびす)神社
本殿西の高台に位置し、七福神の一つである恵比寿(戎)を

祀る。海上・漁業の神、商売繁盛の神として信仰される。かつては今の屋台倉付近にあった



愛宕(あたご)神社

本殿北西の最も高台に位置する。雷神を祀り、防火の守護神。一般に山の頂付近にあることが多い。明治6年の絵図では今の「もみじ回廊」の「ふれあい広場」付近にあったとつた。



山口堂とその西のお堂

鈴の森神社境内東端にある。元山の口神社(現在薬師堂、俗称山口堂)に祭られている山之口大明神は、1737年の村明細帳にすでに記されているとつたが、堂の名板には寛延庚午(1751年)創建とある。



山口堂の主祭神は山口大明神なのであろうが、今は立派な薬師如来が中央に据えられおり、左に山口明神、右に大

日如来が座す。明治40年に合祀されたと看板にはある。明治6年の絵図にはこの地に薬師堂、今の屋台倉の地に山ノ口社(山ノ口明神)が見える。

そつたが焼失。今の地に再築された。歴史は古い。

また、この堂の西隣には大日堂とよばれるふた間に仕切られたお堂があり、右には牛が多く飼育された時代に信仰が厚かった大日如来(真言密教の教主)の石刻(慶長1600年頃の年号が刻まれていると聞くが肉眼では定かでない)、左には不定形の石(淡島明神と伝えられ、婦人病に効験ありといつたこと、昔は腰巻が多く奉納されてたこの(こと)が祭られていてい



■ 其他のお堂や神社

有井堂
薬師如来を本尊とし、古代から旅人の休泊施設となつていた。「峯相記(1348年)」にはこのお堂に一宿した慶芳上人が夢見に、妙徳山神積寺建立のお告げを受けられたといつた。

お堂脇の井戸は投げ込まれた石でかなり埋まってはいるが空井戸ではない。歴史的に見れば、辻川では最も古いお堂の一つであらう。



地蔵堂

堰溝(ゆみぞ)の脇にあり、地蔵菩薩を祀る。地蔵盆について柳田國男さんは、

「堂の前に笠(かさ)を敷きて老若集り、かんかんと鉦を叩き小豆の飯の握り飯を食へる。平袖後紐の我々は地蔵さんが右の手(実際は左手・國男さんの勘違いか)に持って御座る三角な物もやはり握飯の類かなど思つて居た。」「地蔵殿の苗字「柳田國男」と記している。

地蔵菩薩は左手に宝珠、右手に錫杖(しゃくじょう)を持ち、地蔵菩薩の縁日である8月23・24日(旧暦7月24日)に地蔵盆が行われる。地蔵菩薩は道祖神、庚申(こうしん)信仰などと結合し、『観音』(観世音菩薩: 十三の化身をもつ西国三十三所の観音霊場はその例)と並んで民間に広く信仰された。



地蔵堂は昭和26年に建立されたもので、旧のお堂は移築され、今は鈴の森神社境内内社の大日堂になつてい

の信仰を集める。もとは農耕の神。毎年2月初めの午(うま)の日に行われる稲荷の祭り(初午)には、神前に油揚げを供え、油揚げと菜を食へる風習がある。辻川では初午に、小豆のおにぎりがふるまわれ、福引が行われる。狭い境内では子供相撲が奉納される。厄払いの鳥居が奉納されている。



『福崎町史』第一巻参照。伊藤源五さんにも教示を受けました。

『山崎断層と地震』

第4回 山崎断層の危険性

84/5/30 午前9時30分
安富町の植木野々三坂付近を震央とするマグニチュード5.6の中(規模)地震が発生した。震源の深さは17km余り。喜坂峠断層の一部が約10kmにわたつて動き、破壊された。わずか4時間ほどの間にかつた激しい余震が十回程度発生し、特に本震の3時間後には震度4を再び記録した。

山崎断層系の活動の歴史

1979年と1986年、安富町で掘削調査が行われ、山崎断層の活動履歴が明らかになった。それによると、福崎に最も関係が深い安富断層は24,000年前以降5回以上の活動があり、古文書に記された88年(平安時代)の播磨の大地震(M7以上)もこの断層が震源断層であることが判明した。活動

周期は千数百年〜二千数百年のこと。ただし、山崎断層系の部分断層は6つあるので、どこかが動く周期はさらに短くなる。ある研究者は、山崎断層系全体ではM5規模は約十年周期、M6規模は約百年周期、M7規模は約千年周期で発生するといっている。

福崎で予想される地震被害

1998年、兵庫県は県内市町別地震被害予測を発表した。山崎断層系の最大Mを7.7と想定(主部北西部50kmが同時に動く)し、福崎町での最大震度は7、住民の半数がそれ以上が家を失つた。西播磨全域では死者が約2700人などの被害が出る予測[2007年2月発表の国の被害想定では最大Mを8.0(主部全体80kmが動く)とし、県内で7,500人が死亡]とした。共に冬の午前5時頃を想定。

また、海溝型地震である南海地震・東南海地震も心配される。それぞれ想定規模はM8.4とM8.1。過去には相前後して活動することが多く、これまでの活動周期から考えて、21世紀前半に発生する可能性が高い。福崎でも震度4〜5程度の長い周期の強い揺れが1〜2分にわたつて繰り返すことが予想される。 [田崎]

編集後記とお尋ね

「辻川だより」を何とか一年間続けることができました。「楽しみにしているよ」との声に支えられました。ありがとうございます。さて、鈴の森神社の保存樹やまももが立つ一面は玉垣で囲われ、とうみても昔のお社の址(あと)としか見えません。どんな社が建つていたか、ご存知の方は教えてください。